

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆10月の訪日客389.6万人、前年比17.6%増 同月で過去最多

・日本政府観光局が発表した10月の訪日客数は389万6300人で、前年同月に比べ17.6%増加。10月としては過去最多。韓国や中国から多くの観光客が来た。カナダやメキシコからの客数は単月として最多を更新。国・地域別でみると客数が最も多かったのは韓国の86万7200人で18.4%増えた。2番目は22.8%増の中国で71万5700人だった。

◆生活不可欠なサービス、供給不足ならGDP76兆円減 経産省試算

・経済産業省は医療・介護や小売り、運輸といった生活に不可欠なサービスの供給不足が続いた場合に2040年度の実質国内総生産(GDP)が最大で76兆円減少するとの試算を示した。生活インフラサービスを維持するため、民間事業者の採算性の確保や金融支援といった対応策を2025年内にもまとめる。

◆10月の手取り名目で2.9%増 3カ月連続プラス、QUICK算出

・金融情報サービスのQUICKが推計した、働く人が受け取る10月の可処分所得は名目の前年同月比で2.9%増だった。3カ月連続でプラスとなり、前月の2.2%増から伸びが拡大。給与計算の業務を受託するペイロールのデータを使って推計。9月の全国消費者物価指数は2.9%上昇で、10月の可処分所得は同水準となった。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆改正建設業法、12月12日から完全施行 契約代金・工期が厳格化

・「建設業法施行令の一部を改正する政令」などが閣議決定され、「改正建設業法」および関連する政令などが12月12日から完全施行。2024年6月に改正法が公布されて以降、価格転嫁協議の円滑化や監理技術者専任義務の合理化に関する規定などが、順次前倒しで施行。適正な労務費の確保と行き渡りための規定も、同日から義務化。

◆子育てグリーン事業、密集市街地の信託活用賃貸住宅を補助対象に

・子育てグリーン住宅支援事業の「賃貸住宅の新築」の補助対象に、「密集市街地の地権者が信託を活用して新築する賃貸集合住宅」が追加。信託とは、建物が密集する市街地の複数の地権者(委託者)が、不動産を信託事業者(受託者)に託し、管理・運用を委ねることを指す。再開発のハードルが下がる効果が期待される。

◆ハウスメーカー5社がPEX管廃材の資源循環スキームを構築

・旭化成、旭化成ホームズ、積水化学工業、積水ハウスおよびCFPの5社は、住宅の建築現場で発生する給水給湯管の施工端材を活用した資源循環スキーム構築を開始すると発表。「エスロベックス」を製造する積水化学工業は、製造時に発生するエスロベックス廃材のリサイクルを検討。ケミカルリサイクルを手掛けるCFPが再生エチレン生成。

《 注目商品 》

■ノーリツ、オゾン水・UV除菌搭載の給湯器「GTH-C71/70シリーズ」

・オゾン水やUVによる除菌機能を備えた高効率ガス温水暖房付ふろ給湯器。独自のオゾン水除菌ユニットAQUA OZONE(アクアオゾン)を搭載。オゾン水を流して目に見えないふる配管を除菌し、排水口にたまった水の臭いも抑制する。



■TOTO、造作風洗面化粧台に新アイテム・新色を追加

・洗面ボウル、水栓金具、カウンター、鏡、キャビネットを組み合わせる造作したようなデザインを実現できる洗面化粧台「drena(ドレーナ)」を4年ぶりにモデルチェンジして発売。洗面台下に新たに「オープンキャビネット」をラインアップ、効率よくモノを出し入れできる。



■工機HDジャパン、電動工具ブランド「HiKOKI」からコードレスカッタ

・工機ホールディングスジャパンは、電動工具ブランド「HiKOKI(ハイコーキ)」から、業界初となるコードレスカッタ「CE 18DYMA(Mバーカッタ)」および「CE 18DYCA(Cチャンネルカッタ)」を発売。片手操作で部材を押さえながら切断でき、切断時間は約4秒以下。

